

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第184号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年5月31日 01時40分ごろ	
発生場所	愛知県田原市赤羽根港東防波堤灯台から真方位113°10.7海里付近 (概位 北緯34°32.0′ 東経137°23.0′)	
事故等調査の経過	平成21年7月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 第七十八 ^{ほうせい} 鳳生丸、499トン 131625、鳳生汽船株式会社 B 押船 第六十八さだ丸、141トン 136806、盛徳海運建設株式会社 C クレーン台船 かいせい、2,383トン なし、百五リース株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、四級海技士（航海） 二等航海士、四級海技士（航海） B 船長、五級海技士（航海） 次席一等航海士、六級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A バルバスバウ両舷凹損 B 船尾左舷側き裂及び凹損	
事故等の経過	A船は、愛知県東幡豆港に向け西進中、船橋当直中の二等航海士が居眠りに陥り、B船は、C船を押して、三重県鳥羽港に向け西進中、平成21年5月31日01時40分ごろ、赤羽根港東南東方沖において、A船の船首部とB船の船尾左舷側とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3 海象：波高 約3m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、船橋当直中の二等航海士が居眠りに陥って航行し、前路を航行中の速力の遅いB船に気付かず、B船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、赤羽根港東南東方沖において、A船及びB船が西進中、A船の船橋当直中の二等航海士が居眠りに陥ったため、前路を航行中の速力の遅いB船に気付かず、A船とB船とが衝突したことにより発生したものと考えられる。	